

IATF16949対応

自動車部品鍛造用放射温度計

測定周囲温度90℃まで使用可能

JCSS校正試験対応可能

自動車用部品は各製造プロセスにおいて厳密な温度管理を求められています。特に熱間鍛造工程では、材料の組成の変化の確認や加熱温度不良によるプレスでの失敗を防ぐために温度管理が重要です。

また近年では自動車部品や航空機部品メーカーでの温度管理が一層厳格になりJCSS付の機器使用を義務付けられる場合があります。

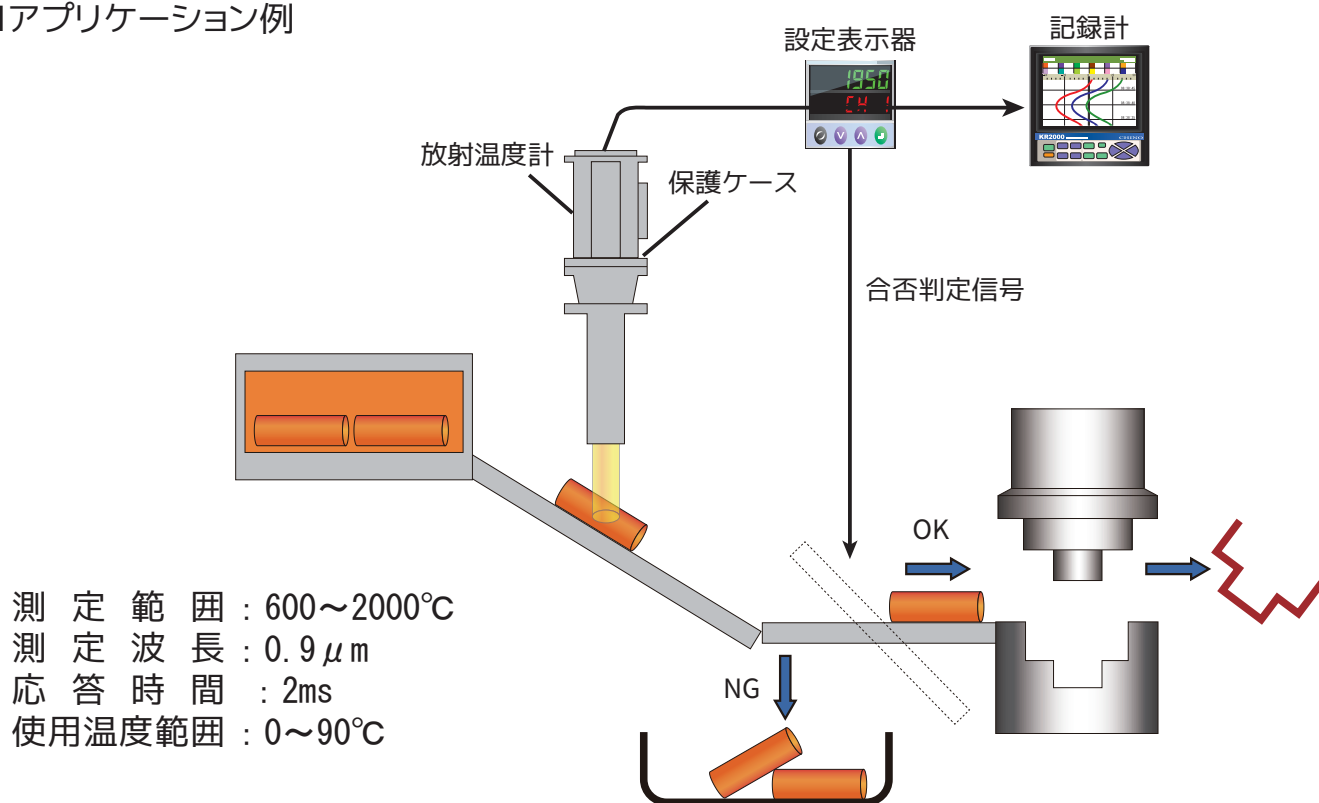
[導入効果]

- 材料温度を全数確認することにより打ち込み失敗による不良率が低下
- 高速で温度判定が可能のため生産性が向上
- 明確な管理基準が出来たため高品質な製品の製造が可能

[製品の特長]

- 使用温度範囲90℃、防塵・防滴構造のため悪環境での使用に最適
- 応答時間2msのため高速な移動物体も測定可能
- JCSS校正が社内で実施可能
(JCSS校正対応可否についてはお問い合わせください)

■アプリケーション例



※この資料の記載内容は2018年7月現在のものです。

CHINO 株式会社 **チノ**

<https://www.chino.co.jp/>

ZA2018-015